

千早小吹台小学校の教育を充実発展させるためのアンケートについて

学校運営への提言や感想

(防災安全等の取り組みについても)

提言1 1/16の防災授業は非常に有意義であったと思います。子供は、「昨年も避難訓練をしたから、もうやらなくてもできるのに・・・」と言っていましたが、「毎年やるから、その状態がキープできてるねんで。」という話をして、継続して取り組むことの大切さを話し合うことができました。

また、子供に阪神淡路の時の話をしたりして、私も地震の恐ろしさや、備えの大切さを再認識できて良かったと思います。

また、地域の方も参加したのも非常に良かったと思います。ただ、地域ごとの区分けと、児童の下校班がややわかりにくかった方もいらっしゃったようです。再度周知があればよりわかりやすかったかと思いました。

提言1について

气象台のご支援を頂き、防災学習に本格的に取り組む始めて、3年目になります。本校では、子供たちの命を守る取り組みとして、防災学習は大きな柱だと考えました。ただ、日々の生活に追われ、大災害の教訓が十分に生かされず、防災意識は徐々に薄れているようにも感じます。大地震の発生する確率は非常に高いという事が分かっていますので、子供たちが大災害と遭遇することを想定した取り組みが必要です。特に、小・中学校での防災学習が、東日本大震災での生死に大きく影響したとも言われており、家庭・地域と共に取り組みを続け、話し合い、改善していくことが大切だと考えています。

ご指摘を頂きました「地域ごとの区分け」と「児童の下校班」については、学校としても課題を感じております。特に、地域の区分けと学校の下校班とのすり合わせを行い、避難所設営と児童の引き渡しがスムーズに行えるように取り組んでまいります。

提言2 最近では不審者など色々な事件が多く、他の学校では集団での登下校等に取り組んでいる学校も多い中、本校でも事故が起こらない前に取り組んでいただきたいと思います。

提言2について

子供の安全について、貴重なご提言をいただきました。ご提案をいただきました集団での登下校につきましては、その効果について長短両面があり、本校の状況を基に考えたいと思います。学校としましても、集団での登下校につきましては、不審者対策として、一定の抑止効果があると考えておりますが、現状では、幸い「不審者事例」が少ない反面、小吹台地区での「交通事故事例」は、この数年間に複数回発生している状況があります。道幅も狭く交差点の多

い通学路を子供だけで集団登校することのデメリットも気になります。また、本校は広い校区を持つ小規模校で、居所が点在する地域もあり、自宅近くで集団になりにくい特徴もあります。以上のような実態から、登下校時の幅広い地域の見守り活動と共に、各ご家庭での対応をお願いしたいと思います。

ただし、危険度の高い情報がある場合等には、「集団下校班」に編成し直し、途中まで教師が付き添い、集団下校を行うことにしております。

また、できるだけ、全学年の児童と一緒に下校できるように、「放課後勉強室」の様な学校支援事業も充実できればと考えております。

提言3 防災訓練、良いと思います。子供達には、くり返し、くり返し伝えておかないと、いざという時、困るので、これからも続けてもらいたいです。

提言3について

防災訓練への評価をいただき有難うございます。学校としましても、正しい防災知識としっかりとした防災意識を学び育てるためには、限られた時間を活かし、取り組みを改善しながら、継続することが重要であると考えております。

提言4 千早赤阪村は、近くの市町村に比べ子供の数が少ないので、常に同じ顔ぶれで動くことが多く、他者との関わりがもてないことが少し気がかりです。せめて、村内の保育園、幼稚園、中学校との交流の機会をもう少し増やして頂けたらと思います。「保育園→小学校→中学校」と進学するにあたり、この少ない人数でも環境の変化にとまどうことが子供の中に多々あり、それも成長の1つだとは思いますが、高校に進学した時のことを考えると、他者との関わり方について大丈夫かな？と置いてしまいます。

提言4について

安全な環境で一人ひとりの子供に目が届く、極め細やかな教育が本村教育の「強み」ですが、反面、高校進学時等に周りの雰囲気に入れ込めず、自分を上手に表現できないという悩みを卒業生や保護者・地域の方々からも聞くこともあり、それが「弱み」であるとも言えます。その少人数教育の「弱み」への対応として、本村では幼・小・中が連携して、様々な取り組みを行っています。

本校でも、新入生の体験入学（1年生）・幼稚園との交流会（5年生）や中学校での体験授業（6年生）や赤阪小学校との全校交流会・合同社会見学（5年生）・合同給食交流会（6年生）等に取り組んでおります。ただ、3・4年での交流が少ないように思いますので、総合的な活動や社会科の地域学習などを通して、その点を改善していきたいと思っております。また、学級集団とは別に「縦割集団」の活動をたくさん取り入れて、縦と横の関係をより深めてまいります。

なお、本校では「伝え合う力」の育成を目指して、言語活動の充実を重点目標に掲げ取り組んでおります。また、本校教育の特色でもある「英語活動」では、「臆せず自分の思いを発信できる子供の育成」をねらいとして、全学年で取り組み、国際交流やオーストラリアの学校との「テレビ会議」授業など、関係機関からも、

高い評価をいただいております。また、生徒指導や道徳的な指導も含めて、幅広い体験を積み重ね、児童の自尊感情の育成にも取り組むことも大切であると考えています。

提言5 色々な取り組み、ありがたいです。子供の人数がすくないので、他校（地域外も）との交流を増やしていただけたらどうかな と思います。

提言5について

貴重なご提言をいただきました。地域外の学校との交流については、以前に被災地への寄せ書きを送る取り組みがありましたが、他の小学校や支援学校との交流会、英語学習を通しての高校の留学生との交流なども考えられると思いますので、今後の検討課題とさせていただきます。

提言6 いつも、本当にお世話になっております。安全についての教育、感謝しております。

もう一つ、この頃気にかかるのが、性についての安全教育です。例えば、助産師の〇〇さん（出張授業をされているとのことなので）などに、性教育、特に、いのちを大切にすることや、男子も女子も、性感染症から身体を守ることにについて、メディアでいわれている以上のことを、子どもたちが学べたら・・・と願います。（H I Vの感染者数、特に若者で、すごい数になっているそうなので）

提言6について

ご提言有難うございます。本校では、性に関わる問題を通して、「命の大切さ」を学ぶ取り組みを各学年の発達段階に配慮しながら、全学年で実施しています。

なお、ご指摘の性感染症の問題については、主に、6年生の保健体育の時間に、主としてH I Vについて学習しますが、十分なものとはいえないかもしれません。最近、H I Vだけでなく、梅毒・淋病などの感染症が若い世代に急速に拡大しているとの報道もあり心配です。今後は、中学校との連携も進めながら系統的な学習を行い、児童の認識を深めていくことが重要であると考えます。

また、村の学校保健会等にも働きかけ、子供たちへの啓蒙を急ぐと共に、安全に関わるカリキュラムの見直しも、進めていきたいと考えております。

提言7 いろいろ工夫して、子どもたちに教えて下さっていると思います。

提言7について

評価いただきありがとうございます。創意工夫のある授業が子供たちの意欲を高め、学習効果も高めます。ただ、教師の力だけでなく、地域・関係諸機関のご支援をいただき、その道の達人や専門家を「ゲストティーチャー」として迎え、学習を進めることも、子供たちの興味関心を高めるために、有効な取り組みになるのだと考えています。今後も、学校にご提案をいただければ、そ

の趣旨を大切にしながら、カリキュラムに取り入れることも可能ですので、学校へのご支援も、どうぞ、よろしくお願い致します。

提言 8 土曜参観、日曜参観については、防災のことも、もちろん大切だとは思いますが、体育館での音読発表も良いのですが、普段の授業を観るのも良いと思います。(特に、お父さんは土日しか来られない方も多いと思うので。)

提言 8 について

昨年度も、同様のご提言をいただきました。休日の参観日における教科学習の実施について検討しましたが、今年度は「音読発表会」と「防災・安全学習」の継続を重視し、見送らせていただきました。

土曜参観につきましては、防災・安全に特化した取り組みにしたいと考えておりますが、日曜参観では、「PTA本部事業」との関係も含めて、再度検討させていただきます。

提言 9 大変お世話になっております。校長先生をはじめ、諸先生方があたたかくご指導くださり、とても良い小学校だと思います。

防災安全等への取り組みもしっかりしていて良いと思います。

世界の国では、明日食べるものもない、スラム街に住み、学校にも行けず、家の手伝いをしたり、働いている子供達もいます。毎日学校へ行き、勉強することができ、食べるものにも困らない生活が当たり前ではなく、どれだけ恵まれているかということをお子達に伝えるような道徳教育があれば良いと思いました。

提言 9 について

道徳教育に関わる貴重なご提言をいただき、ありがとうございます。貧困や食料の問題を含め、外国の人々の生活や暮らしなどについて学ぶことは、高学年の社会科や総合的な学習で行っていますが、それらの学習を基に、自分自身の意識や生活態度を振り返り、自他の生命を尊重する心を育てると共に、家族や社会に対する感謝の気持ちを持ち、自立心や自律性、自他の生命を尊重する心を育てるということは、道徳教育の大切な題材になると思います。今後、授業化できるように取り組みたいと考えております。

提言 10 防災訓練に先日行きましたが、放送がかかっていました。実際には、音が出ない事があると思います。そのような時の場合、ろうかのガラスが全部割れた場合のことも考えても良いのではと思いました。

提言 10 について

昨年度に続き今年度も、防災避難訓練時の設定を「震度 6 程度の地震が発生したが、校舎・体育館は使用可能であり、放送も可能である。」としました。ただ、ご指摘にもあるように、大規模災害の発生の際には、停電が予想され、

非常用の放送設備も停止する場合や窓ガラスの破損による負傷や避難経路の変更の可能性もあると思いますので、今後、設定を変えて避難計画を立てることも考えていきたいと思います。暗い空間や一斉に指示できない非常事態では、連絡体制の検討や負傷者への対応なども大きな課題になります。来年度も、新たな課題への対策や準備を積み上げていく必要があると考えます。

提言 1 1 防災のことを学ぶのは、とても良い事だと思うのですが、去年は津波で、今年は地震なので、どうしても内容が重なってしまうのは、わかっているのですが、来年もとなると、同じ内容なら、最後のひきとりにだけ行けばいいかな？と思ったのが正直なところでした。

最後の校長先生の話がもう少し短いとありがたかったです。子供達はひな後なので、上着を着ていない子もいましたし、スリッパもぬいでいたので、冷えがひどかったです。

提言 1 1 について

体育館は、暖房はしていましたが、床が冷え、寒かったと思います。児童に対する私の避難訓練の講話が長く、申し訳なく思っております。今後は、子供たちの体調に十分配慮させていただきます。

なお、3時間目の防災学習については、今年度は、気象台の講師先生とも打ち合わせを行い、敢えて、学習成果の定着をねらい、ほぼ同じ学習内容の授業をしていただきました。(一部、新しい内容も入れていただいています。)来年度についても地震・津波対応の防災学習を継続していきたいと考えておりますが、学習内容や授業の形態等については、変更も含めて、検討してまいります。

提言 1 2 前回と同じような訓練だったように思います。訓練ならば子供を引き渡すまで、緊張感を持って行ったほう良いと思います。

参観を合わせてせず防災訓練を中心に行うのであれば、子供を引き渡せるようになった時点でメール等で親に連絡をし、引き渡し訓練を行った方が良いと思います。

引き渡し訓練の時の引き渡し受付の列が、後ろの方だとわかりにくい。受付の列の間をもう少しあけた方がいいのでは・・・。

提言 1 2 について

防災訓練として、「メール配信」を使った引き渡し訓練を行うという事も、有効であると思います。ただ、現時点では、全家庭の登録ができていない状況ではありませんので、今後の課題とさせていただきます。

なお、大規模災害の際は、停電や通信回線の混乱も想定されていますので、学校と家庭との連絡方法について、踏み込んだ検討をする必要があると思います。つきましては、防災時のメールや伝言板の活用について等、研修を深め、認識を共有する必要があると思いますのでよろしくお願い致します。

引き渡し訓練の際の受付につきましては、ご指摘のように、受付方法や表示の仕方に改善の余地がありますので、改善を検討してまいります。

提言13 先日、防災訓練に参加させていただきました。近隣の小学校でも、このような地域をとりまいての訓練は、なかなかやっておられないようです。児童だけでなく、親や地域の方々も一緒になって取り組むことは、とても良い事だと思います。

提言13について

評価いただきありがとうございます。保護者・地域の皆様と共に考え、学校と家庭・地域の風通しの良い関係を築いていきたいと考えております。

提言14 防災訓練など、子供も覚えていて、自宅に帰ってからも、注意点などを話してくれるので、引き続き、行って行ってほしいです。

提言14について

防災や安全について、各ご家庭で話し合い、対応を確認する機会となれば、この取り組みが大きな意味を持つ事になりますので、年に一度ですが、今後も、家庭での話題としていただければありがたいです。

学校支援活動について

提言1 「親かい」についてです。「親かい」に参加させてもらって、いつも勉強になります。スクールカウンセラーの塩見さんもとても熱心に動いて下さるので本当にうれしいです。「発達」についての問題はデリケートなので、気軽に「ぜひ一緒に参加しましょう！！」とは言えなくて・・・

でも、1人で悩んでいるお母さんは、もしかしたら多いんじゃないかなと思います。「親かい」でのつながりが、私の中ではとてもプラスになっているので、もし、子どもの事で何か期になるな・・・と思っている方がいたら、ぜひ「親かい」を紹介したいなと思っています。「親かい」を知らない方が多いのではないかなと思います。書きかせていただきました。すてきな会なので、こういうつながりを必要とする方には、ぜひ広めたいです。子どもの成長のためにも、積極的に活動していきたいと思います。

提言1について

子育ての悩みは、程度に違いはあっても、多くの方がお持ちではないかと思えます。特に、一人ひとりの子供の特性や能力は様々ですので、世間で言われる「ふつう」という概念も怪しく感じます。特に子供の発達・成長は様々で、「遅れ」や「偏り」を保護者の皆様が心配されるのは当然だと思います。

学校としましても、教育相談を充実させ、子供やご家族の思いに寄り添いながら、取り組みを進めてまいります。その際、「親かい」等の専門機関の活用や、保護者間の交流に参加していただくことは、子供の理解や教育にとって大きな意味があるのではないかと考えております。

これからの子供の育成は、「親まかせ」、「教師まかせ」、「専門家まかせ」ではなく、連携して取り組むことが重要であることは間違いありません。子育てに関わる「困り」・「悩み」・「不安」等を感じておられる場合は、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家の助言により軽減できればと思います。また、保護者間の交流を通して感じられた思いや学校への提案などがありましたら、聞かせていただければ幸いです。

提言2 安全見守り活動をはじめ、ボランティアのみなさまには、日々、感謝しております。これからもよろしくお願い致します。

提言2について

雨の日も風の日も、子供の安全のため、見守り活動をして下さっている皆様に、学校としましても、心よりお礼申し上げます。また、様々な学校支援活動に積極的に参加して下さっている多くの皆様にも感謝申し上げます。今後も、地域の子供たちの健全育成のため、ご支援のほどお願い申し上げます。

提言3 いつも楽しく参加させて頂いています。金剛登山は本当に楽しかったです。いつもより長い時間、子どもたちと一緒にいることが出来たし、1年生～6年

生まで、みんなの事がわかり、勉強になりました。縦割りの活動って、すてきなと思いました。

支援ボランティアの予定がもう少し早くわかるとうれしいなと思いました。毎月、子どもが持って帰ってくる行事予定を楽しみにしています。今年もどうぞよろしくお願い致します。

提言3について

地域の自然や文化に触れる取り組みが重要だと捉え、縦割り班で励まし合いながら、全校で金剛登山を行っておりますが、登山の苦手な児童への個別の指導や安全対策には十分配慮する必要があります。その意味で、登山の引率の支援をしていただくことは、学校として非常に感謝しております。今後も、子供たちを見守っていただき、楽しく登っていただければ幸いです。

なお、引率支援等のお手伝いをお願いする行事につきましては、年間行事計画に表示するなど、できるだけ早くお知らせできるように致します。

提言4 放課後勉強室には、ずっと参加させてもらっていて、とても有りがたいので、これからも続けて貰いたいです。

「たの詩クラブ」は、作文などの練習という事なので、これも力を入れてもらいたいです。「たの詩クラブ」の方は、もう少し回数を増やして貰いたいです。

提言4について

「放課後勉強室」と今年度から始まった「たの詩クラブ」につきましては、指導員の皆様のご尽力に深く感謝しますと共に、今後、指導員さんが増え、ゆとりができましたら、回数を増やしていただけるかもしれません。幅広い皆様のご支援をお待ち申し上げます。

提言5 たくさんの取り組みありがとうございます。

提言5について

評価をいただきありがとうございます。子供たちの安全確保と様々な教育活動への支援をいただき、学校支援ボランティアの皆様には、学校としましても、心より感謝申し上げます。

提言6 いつもお世話になり、ありがとうございます。放課後勉強室や「たの詩クラブ」など、地域の人材を活用した新しい取り組みもしていただき、子どもが楽しく参加させていただいております。中学年（3・4年）になっても、そのような放課後勉強の取り組みがあれば嬉しいな・・・と思うのですが、やはり時間割の都合上、中学年以降は難しいのでしょうか・・・？

提言7 子供が「放課後勉強室」「たの詩クラブ」でお世話になっております。時間的に難しいとは思いますが、高学年でも実施して頂ければうれしいです。

提言6と提言7について

「放課後勉強室」等の取り組みにつきましては、現在、低学年（1～3年生）の授業終了後、下校時間までの間の放課後を対象として、低学年児童の学習習慣の育成と、高学年児童と一緒に下校できるという意味での安全対策をねらいとしております。取り組みについての肯定的な評価をいただき、学校としても心強く思っております。

ご提言については、今後の人員や予算の確保が前提となりますが、教育委員会のご理解とご協力も得て、高学年も含めた放課後の取り組みを充実できることを願っております。引き続き、ご支援いただければ幸いです。

提言8 英語の放課後の教室が有れば良いのと思います。

提言8について

「たの詩クラブ」のように、選択肢が増えて「英語クラブ？」ができればと思いますが、指導員の確保が課題であると思います。ご支援いただける方ありましたら手を挙げていただければと思います。

提言9 放課後教室は、とてもありがたくて、子供も楽しんで参加してくれていま「たの詩クラブ」は、ちょっと内容が難しいそうで、最近のり気ではなくなっていました。せっかくの教室なのに、先生に申し訳ないなあと思っています。

提言9について

「たの詩クラブ」は、スタートしたばかりの取り組みです。子供たちの様子を観ながら、手探りで取り組んでいただいておりますが、これから活動も変化していくのではないかと感じています。保護者の皆様の「たの詩クラブ」へのご支援もよろしくお願い致します。

提言10 地域の方々に支援していただき、いろんな事を体験させていただいて、大変ありがたく思っております。子供たちもとても喜んでおります。私達、親世代は共働き等で、なかなかこのような活動に参加できず、いつも支援して下さっている方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。

提言10について

ありがとうございます。地域の皆様のご支援が本校教育の大きな支えとなり、子供の健全育成のためにはなくてはならない、地域の教育力であると考えおります。